

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	大腸ステント留置による全大腸観察の有用性の検討
当院の研究責任者	所 属：消化器肝臓病センター・消化器内科責任者：奥田隆史
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	進行大腸癌による腸管狭窄は、診断および治療方針の決定において重要な課題となる。腫瘍による狭窄がある場合、全大腸の観察が困難となり、術前の正確な病変評価や追加病変の確認が十分に行えない可能性がある。大腸ステントは、腸閉塞を一時的に解除し、待機的手術への移行を可能にする治療法であり、術前に全大腸の内視鏡評価を行う機会を提供する。本研究では、進行大腸癌による狭窄例における大腸ステントの有用性について検討する。
調査データの該当期間	2020 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	当院で施行した下部消化管内視鏡検査の臨床データを後方視的に検討する。
試料・情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	匿名化し個人を同定できないように行う
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	T E L : 0742-24-1251 担当者：消化器肝臓病センター・消化器内科 奥田隆史
備 考	